

家庭学習の手引き

笠岡市立中央小学校
(保護者用)

1 家庭学習で身につくこと

○基礎的な学力・・・「わかる」から「できる」へ

授業の中で子ども達が「わかった」ことが、次の日や後の学習の中で「どうだったかな」と、あやふやになることもしばしばあります。授業で学んだことを確実に「できる」力にしていくためには繰り返し練習することが大切です。授業の中だけでは十分に時間をとることができません。そこで、家庭学習でも繰り返し取り組ませることで「わかった」ことが「できる」自信になっていきます。

○継続する力 (根気)

毎日、自分のためになることを続けて取り組む力です。「毎日」続けることは素晴らしいのです。自分の夢をかなえた人は、あきらめずに続けたからです。子ども達にもこの力を育てていきましょう。

2 家庭学習を習慣化させるための保護者の役割

○**規則正しい生活をこころがける**

- ・早寝・早起き・朝ごはん
- ・時間を守る
- ・気持ちの良い挨拶・返事

○**学習環境を整える**

- ・決まった場所で
- ・一定の時間
- ・テレビを消して
- ・机の上は学習用具のみ

時間のめやす

【宿題の時間を含む】

- 1年生、2年生
・・・20~30分以上
- 3年生、4年生
・・・30~40分以上
- 5年生、6年生
・・・50~60分以上

○**頑張りを認め励ます声掛け**

できるだけ、学習したことに目を通して、声かけを。たとえば・・・

ていねいに書けたね。

難しい問題に挑戦しているね。

自分でよく調べたね。もっと教えて。

よく考えているね。

前より良くなったね。

集中してやっていたね。

3 家庭学習の取り组ませ方

- ① 学校からの連絡物を出させましょう。
- ② まずは宿題をしっかりとさせましょう。
- ③ 時間が余ったら、学校から出ている「家庭学習の手引き」(児童用)の中からできるものを選んで取り组ませましょう。(5・6年生は「家庭学習の手引き」(児童用)を参考にして自分で考えてもよいでしょう。)
- ④ 家の人が見て声掛けをしましょう。
- ⑤ 次の日の用意をさせましょう。

家庭学習の手引き(児童用)は、家の中のよく見えるところに貼って下さい。